

R5-CX リテーラー組み立てマニュアル

cervélo

velo

目次

重要な情報.....1	電線の配線と設置。.....17
ツールと備品のリスト。.....2	シートポストの組み立てと取り付け.....19
R5-CX 部品リスト.....3	D12 バッテリーの取り付け。.....20
R5-CX フレームの特徴.....4	エアロスルーアックスルの取り付け.....21
小さな部品.....5	タイヤ/リムクリアランス。.....23
ST31 ステム.....7	R5-CX 自転車の使用目的.....24
HB13 ハンドルバー.....	R5-CX トルク仕様.....25
フレームとコンポーネントの準備.....11	R5-CX フレームの詳細.....27
フォークの準備と取り付け.....13	R5-CX フレームジオメトリ.....28
ブレーキ ホースのルーティング。.....15	Cervélo カスタマー サポート.....29

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo正規販売店の皆様がCervélo R5-CXの組み立てと調整を行うためのガイドです。このマニュアルでは、Cervéloコンポーネントの取り付け、および変速およびブレーキ制御ラインの配線に関する手順とプロセスについてのみ説明しています。このマニュアルに記載されている専用部品は、Cervélo Cycles Inc.からのみ入手可能です。

指定された部品を使用し、本組立説明書に従わない場合、走行中に制御不能に陥り、重傷を負う可能性があります。本マニュアルは、サードパーティの部品メーカーが提供する組立・整備説明書に代わるものではありません。また、組立作業者は訓練を受けたプロの自転車整備士であることを前提としています。<https://www.probma.org/> をご覧ください。

注意: Cervélo では、すべての組み立ておよび調整手順を Cervélo 認定販売店で実行することを強くお勧めします。


Cervélo R5-CXのユーザーの場合/
このマニュアルを読んでいる購入者は、このマニュアルに記載されている手順を実行する前に、Cervéloの正規販売店に相談するか、www.cervelo.com/supportにアクセスすることをお勧めします。

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、R5-CXバイクの調整手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店にご依頼いただくことを強くお勧めします。

注: Shimano や SRAM などの非独自コンポーネントはすべて、3地元の販売代理店から入手できます。

注意:このマニュアルは、Cervélo 一般ユーザーマニュアルを補充するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順（この自転車に付属）を補完することを目的としています。

ツール	
	自転車用ワークスタンド（シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド）
	2.5Nm〜15Nmの範囲のトルクレンチとアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm
	オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm、17mm
	ケーブルカッター
	ペンチ
	プラスドライバー
	マイナスドライバー

ツール	
	ペダルレンチ
	ブレーキローターとボトムブラケット用のロックリングツール
	油圧ブリードキット
	イソプロピルアルコール
	Di2ワイヤーツール - シマノ
	高品質の自転車用グリースとカーボンアセンブリコンパウンド
	鋸切断ガイド（Park Tool SG-7.2または同等品）
	弓のこ（カーボンおよびアルミニウム専用ブレード付き）

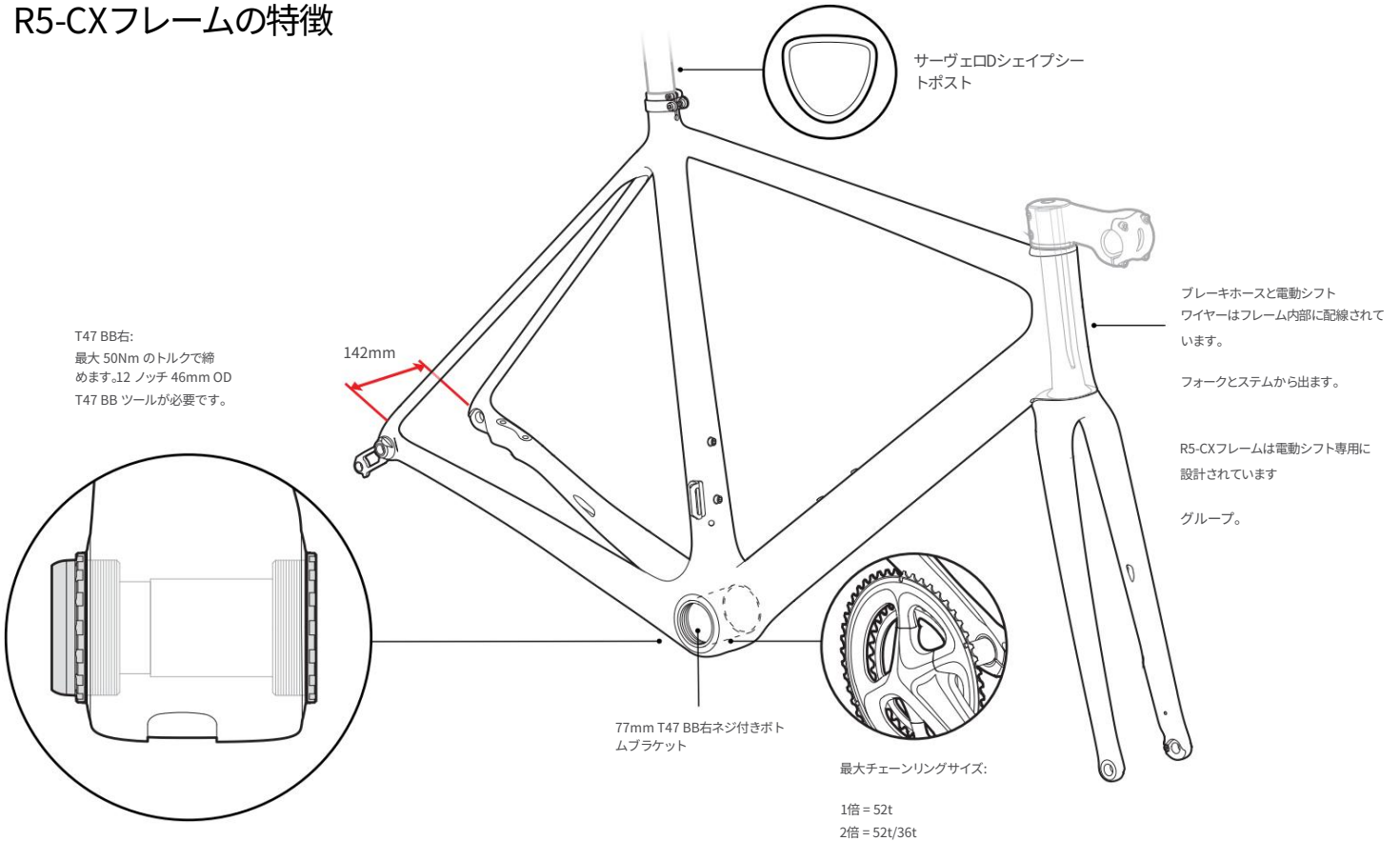
R5-CX 部品リスト

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
BBブランキングプラグ	GR-BB-140
リアディレイラー 固定ナット付きハンガー	DRH-WMN112
シマノダイレクトマウント RDH（固定ナット付き）	DRH-HR
固定ネジ付きねじきフォーク インサート	QRI-THD
シートチューブブランキング プラグ（1個&ワイヤレス）	GR-576
ブレーキホースガイド	CBG-DBH
フロントディレイラー 固定具付きマウント ネジ	FDM-590
フロントディレイラー マウントブラנקプレート（1 個）	FDM-CVR
ドロップアウトブランキングプラグ 無線	GR-DRPOUT-CLOSED

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ドロップアウト電線 ガイド	GRドロップアウトガイド
SP24 シートポスト w/ ヘッド0mm	SP-SP24-ゼロ
SP24 シートポスト w/ ヘッド15mm	SP-SP24-15MM
SP18 シートポスト w/ ヘッド25mm	SP-SP18-25MM
シートポストバッテリー マウント	MT-BINT-SP2
D字型シートポスト クランプとセカンダリ シートポストクランプキット	SPC-256
サーヴェロ フロントエアロ スルーアクスル	QRA-AERO2-F
サーヴェロ リアエアロ スルーアクスル	QRA-AERO2-R
サーヴェロ エアロ スルー 車軸取り外し可能 ハンドル	QRA-AERO2-HNDL
チェーンステープロテクター	プロ-CS-508

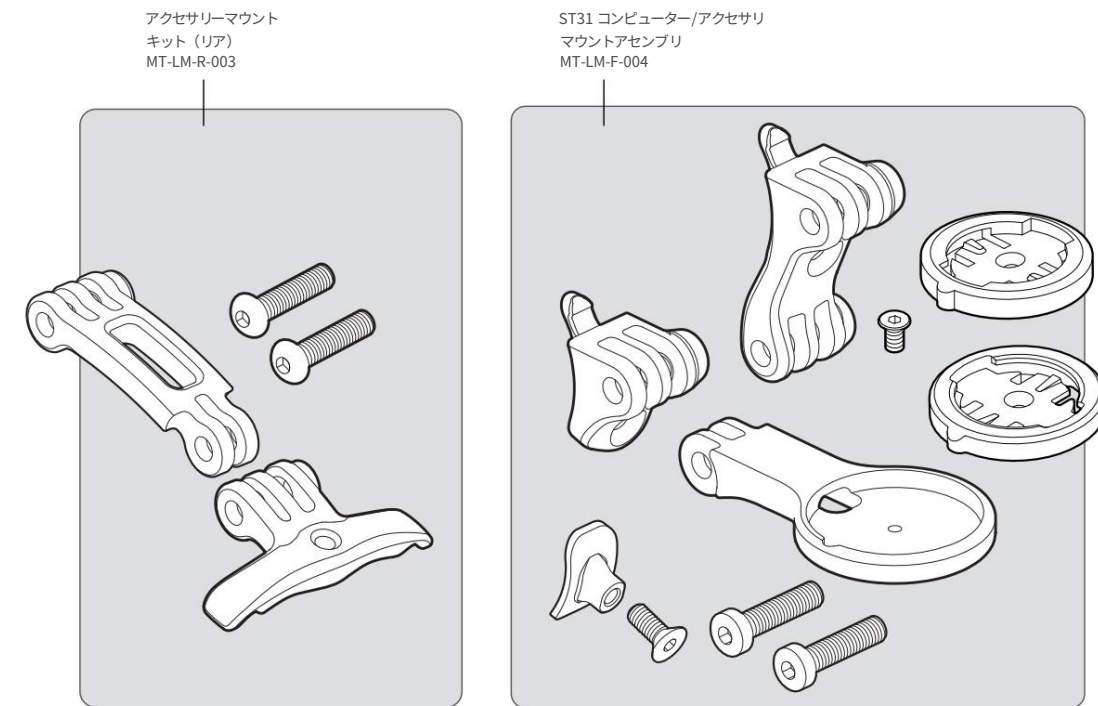
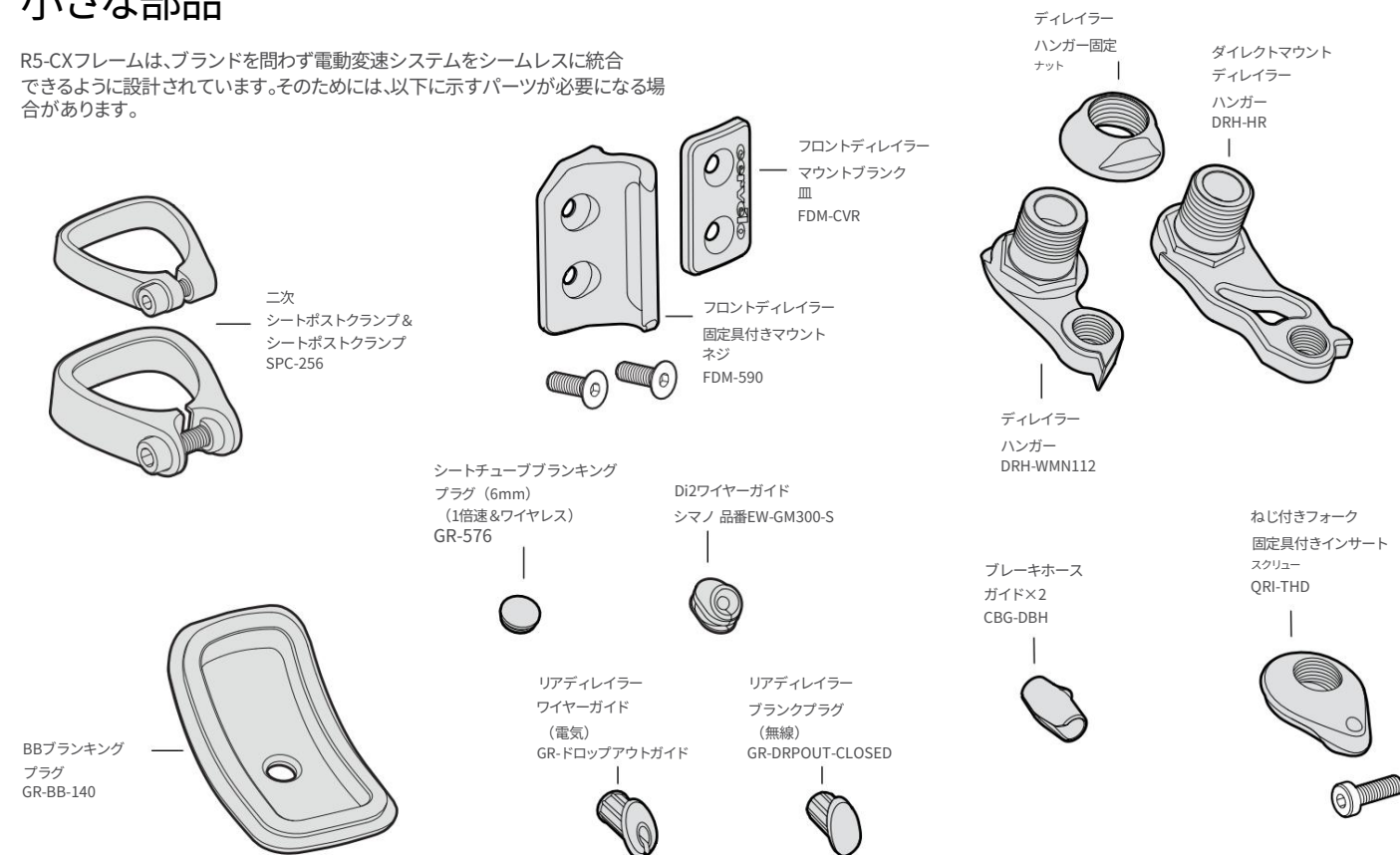
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST32用ゴムプラグ トップキャップ	PL -338
ST31/32 トップキャップ	STC-305
ST32 ベ어링キャップキッ ト（7mm & 22mm）	BC-ST32
ST31/32 HSスペーサーキット SK-032	
スプリットリング 312	SR-312
D字型 圧縮プラグ	FKI-CL005-517A
ST31/32 アクセサリ マウントアセンブリ	MT-LM-F-004
アクセサリマウント キット - リア	MT-LM-R-003

R5-CXフレームの特徴



小さな部品

R5-CXフレームは、ブランドを問わず電動変速システムをシームレスに統合できるように設計されています。そのためには、以下に示すパーツが必要になる場合があります。



取り付け手順については12ページと19ページを参照してください。

ST31 ステム

サーヴェロ ST31 ステム
(炭素)

80mm ST-C031-80 90mm
ST-C031-90
100mm ST-C031-100
110mm ST-C031-110
120mm ST-C031-120
130mm ST-C031-130

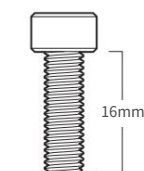
ST32 ステムトップ
キャップSTC-305

フォークを締める
ステアラー固定ネジを
5Nmにします。

ゴム栓
ST32 トップキャップ
PL-338
プリロード固定
スクリュー
M6 x 25

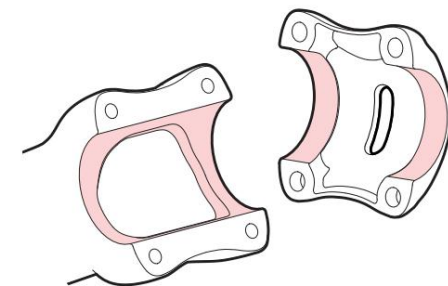
ステムフェースプレートの固定ネジを6Nmに締め
ます。

サイクリング コンピュータやライ
ト、カメラなどのアクセサリを取り付け
るには、アクセサリ マウント キッ
ト - フロント MT-LM-F-004 を使用し
ます。組み立て手順については、
10 ページを参照してください。

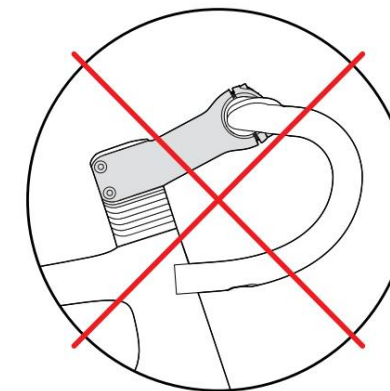
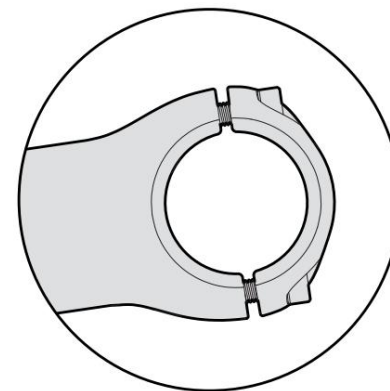


M5 x 16mm
ST31ステムフェ
ースプレート固定ネジ (実
寸大)

1. ステム本体とフェースプレートがハンドルバーのクランプ領域に接触する表面 (右図参照) に
カーボン アセンブリ ペーストを塗布します。
2. ハンドルバーをステム本体の中央に配置し、固定します。
フェースプレートを取り付け、すべてのフェースプレート固定ネジを指で締めます。
3. 上部および下部のステムとフェースプレートの隙間が均等になるまで、星型パターンに従ってフェ
ースプレート固定ネジを均等に締めます。
4. トルクレンチを使用して星型パターンで最終締め付けを実行します。
最大6Nm。



上部と下部のフェースプレ
ートの隙間が均等である
ことを確認します。



追加スタッ
クのために
ST31 ステム
を反転しないでく
ださい。

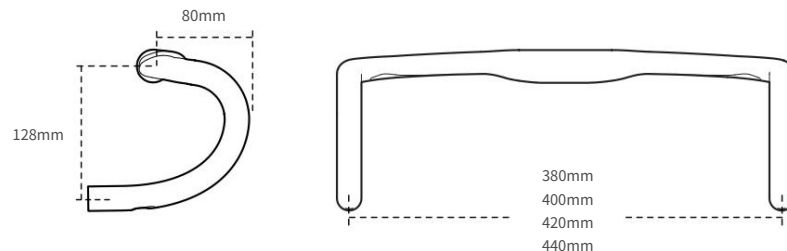
⚠ WARNING

ハンドルバー、ステム、フォークの組み立てには、Cervélo純正
コンポーネントと付属のハードウェアのみを使用してくださ
い。指定されたパーツを使用しない場合、またはこれらの指示
に従わない場合、走行中に制御不能になり、重傷を負う可
能性があります。

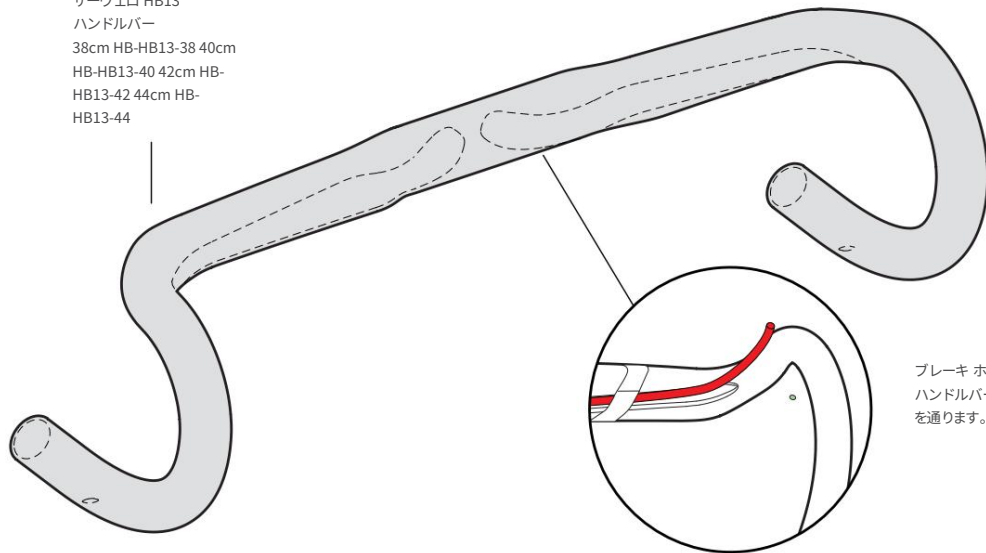
HB13 ハンドルバー

⚠ WARNING

ハンドルバー、ステム、フォークの組み立てには、Cervélo純正コンポーネントと付属のハードウェアのみを使用してください。指定されたパーツを使用しない場合、またはこれらの指示に従わない場合、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。



サーヴェロ HB13
ハンドルバー
38cm HB-HB13-38 40cm
HB-HB13-40 42cm HB-
HB13-42 44cm HB-
HB13-44

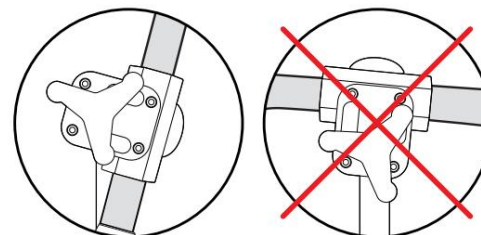


ブレーキ ホースと Di2 E-Wire は、
ハンドルバーの下側のチャンネル内
を通ります。

フレームとコンポーネントの準備

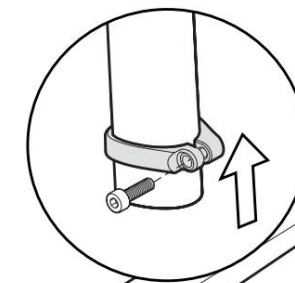
⚠ WARNING

固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。

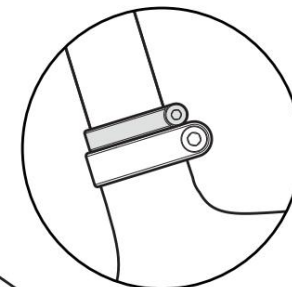


二次
シートポスト
クランプ
(SPC-256)

シートポスト
クランプ
(SPC-256)



1. セカンダリーシートポストクランプをシートポストにスライドさせます。
2. フレームにカーボンペーストを塗り、フレームに挿入するシートポストシャフト。
3. シートポストをフレームに挿入します。高さを調整し、シートポストクランプを最大6Nmに締め付けます。
4. セカンダリシートポストクランプを最大 3Nm に締め付けます。

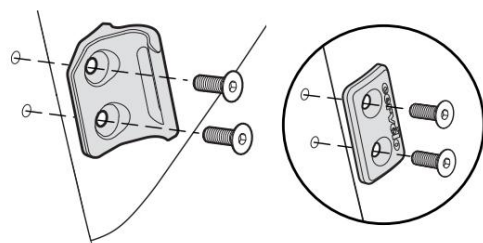


⚠ WARNING

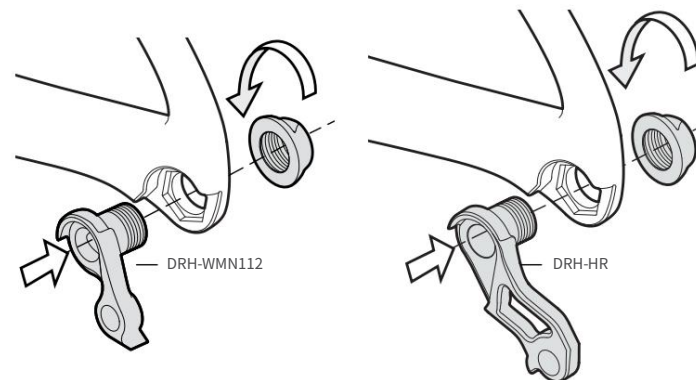
シートポストのトリミングが必要な場合は、最終的な長さは、フレーム内にシートポストが最低70mm残るように、またはシートポストに記載されている最小挿入寸法のいずれか大きい方を考慮してください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

フレームとコンポーネントの準備

フロントの取り付け
ディレイラーマウント
(FDM-590)、そして
固定を確実にする
ネジは
3Nmにトルク調整しました。



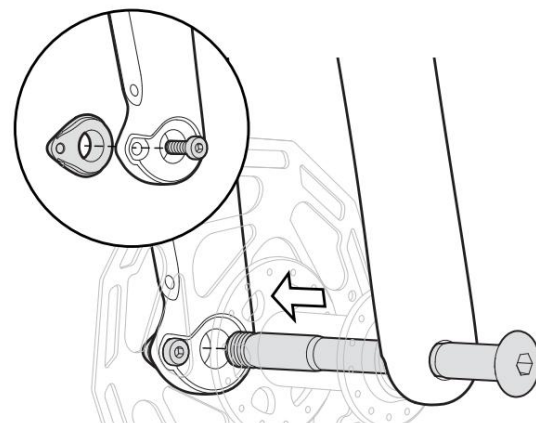
1x システムの場合は、フロン
ト ディレイラー マウント プラン
キング プレート (FDM-CVR) と
交換します。



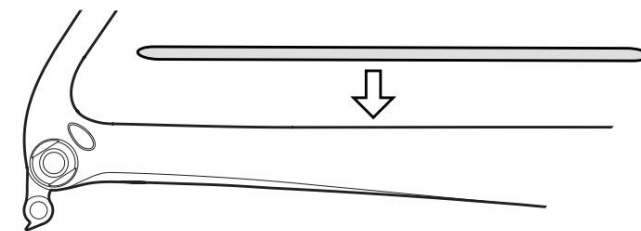
リア ディレイラー ハンガー固定ナットに軽くグリスを
塗り、リア ディレイラー ハンガー (DRH-WMN112) またはダイレ
クト マウント リア ディレイラー ハンガー (DRH-SDM) のいずれか
を指で締めて取り付けます。
後輪取り付け後に最終締め付けを行います。

⚠ WARNING

後輪を取り付けていない状態でリアディ
レイラーハンガーアセンブリを本締めしないで
ください。ディレイラーの位置がずれ、変速不
良が発生する可能性があります。

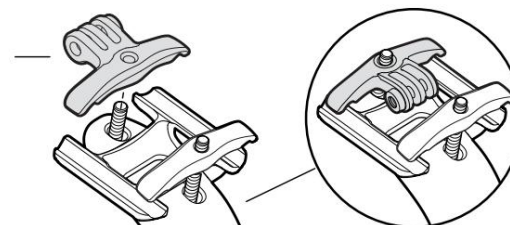


1. 付属のM4固定ネジに軽くグリスを塗ります。
ねじ付きフォークインサート (QRI-THD) の取り付け
固定ネジは軽く締めるだけにしてください。
2. ホイールを取り付けない状態で車軸を取り付けます
フランジがフォークのドロップアウト面に接触し、フォークブレ
ードを圧縮しない程度まで締めます。
3. 固定ネジを3Nmに締めます。
4. 車軸を取り外し、ホイールを取り付けます。
車軸を再度取り付け、12~15Nmで締めます。
5. 車軸とホイールを取り外し、固定ネジを 3Nm に再度締め付けま
す。



イソプロピルアルコールを使用してチェーンステーを清掃します。チェーンステー
プロテクター (PRO-CS-508) の粘着面をはがし、ガードをフレームに固定して取り付
けます。ガード下端は、リアドロップアウト後端から約50mm前方に位置する必要
があります。

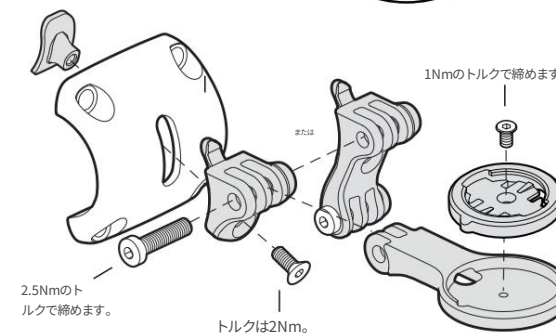
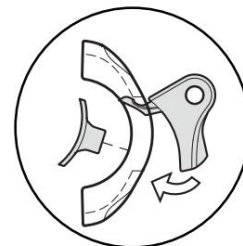
アクセサリ
マウントキット・リア
クロスバー



アクセサリマウント・リア (MT-LM-
R-003)を取り付けるには、シートポストのリア
上部クロスバーをキット付属のクロス
バーに交換してください。最大8Nm
で締め付けてください。19ページも参照して
ください。

アクセサリなしで使用する
場合は、クロスバーを反転し
てクリップを隠すことが
できます。

ST31 アクセサリ マウント (MT-LM-
F-004) を取り付けするには、ST31 ス
テム フェースプレートに角度を付
けてマウントし、2Nmにトルクをかけま
す。



2.5Nmのト
ルクで締めます。

トルクは2Nm。

1Nmのトルクで締めます。

フォークの準備と取り付け

1. ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。

2. フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスペーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。

3. 必要最低限の圧力をかける
アセンブリが完全に固定されていることを確認してください。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。

4. フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。

5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適したのこぎりと切断ガイドのみを使用してください。

6. D型コンプレッションプラグを挿入し、締め付けて固定します。ステムを取り付けた後最終トルクをかけてください。

7. 下部ベアリングをフォークステアラーの上に置き、ヘッドチューブの下からフレームに挿入します。

8. ステムのフォークステアラーを軽くコーティングする
カーボンアセンブリコンパウンドを使用したクランプインターフェイス。ステアラーに、アッパーベアリング、スプリットリング、ベアリングトップキャップ、ステムスペーサー、ステムの順に取り付けます。ステムトップキャップは取り付けなくても構いません。

9. 圧縮プラグを8Nmで締めます。
トルクレンチ。

10. ステムトップキャップとプリロード固定ネジをステムに取り付けます。プリロードボルトは、ヘッドセットの遊びを完全になくし、ベアリングがスムーズに回転することを確認する程度に締め付けます（通常1〜2 Nm）。

11. ステムをフォークに固定するボルトを最大5Nmまで締めます。

WARNING

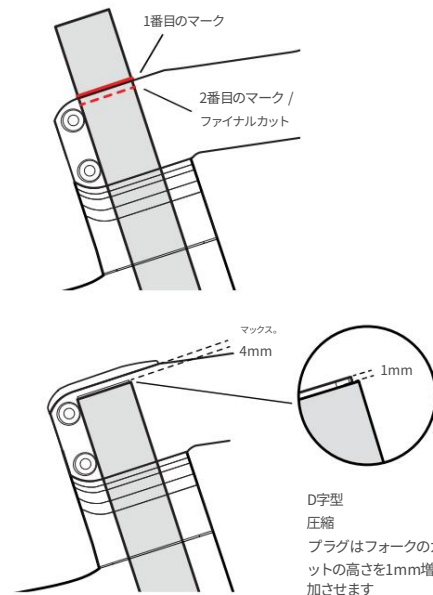
炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

WARNING

ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。

WARNING

ベアリングトップキャップを含めたスペーサーの合計最大高が 52 mmを超えないようにしてください。

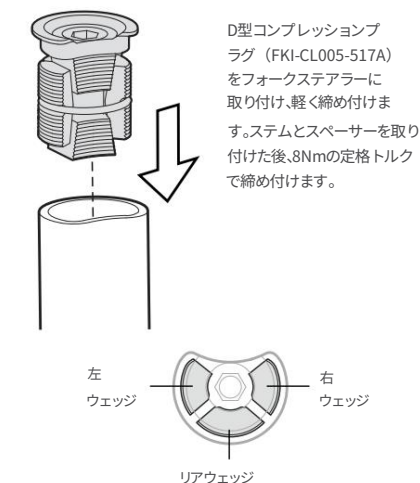


CAUTION

合計5mmを超えないようにしてください
ステムの上のスペーサー。

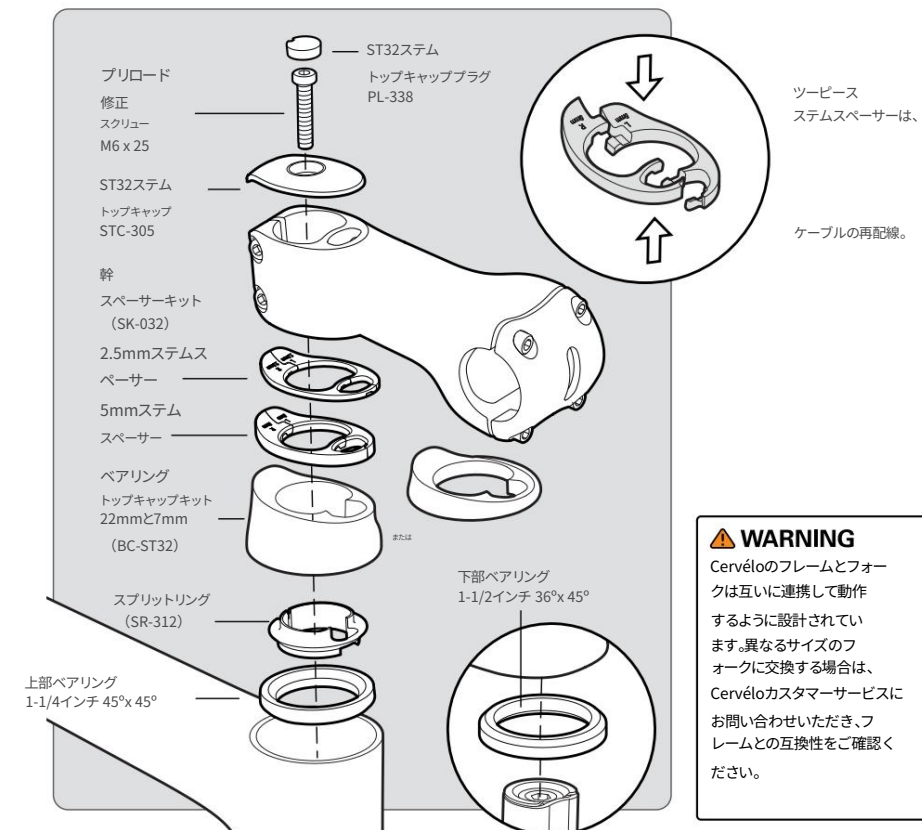
CAUTION

コンプレッションプラグの構成部品は左右異なります。部品を誤って再組み立てすると、システムのプリロードが失われる可能性があります。正しい組み立て方法については、表示されている画像を参照してください。



WARNING

圧縮プラグを推奨の8Nmの最大値を超えて締め付けしないでください。
圧縮プラグは 8Nm を超えて締め付ける必要があります。Cervélo カスタマー サービスにお問い合わせください。



WARNING

Cervéloのフレームとフォークは互いに連携して動作するように設計されています。異なるサイズのフォークに交換する場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせいただき、フレームとの互換性をご確認ください。

ブレーキホースの配線

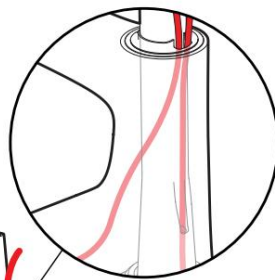
これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。油圧式ディスクブレーキおよび機械式ディスクブレーキの詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ

リアブレーキホースをチェーンステーからダウンチューブに通し、

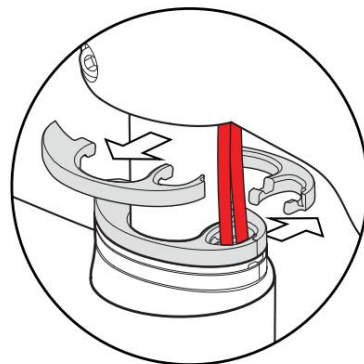
ヘッドチューブを通して上がります。

リアブレーキホースをヘッドチューブ内のフォークのドレイブ側に配線します。

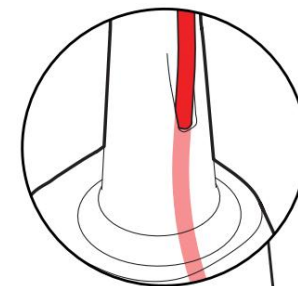


最終的な取り付けに必要な長さに加えて、ブレーキホースの長さを20~25mm追加することをお勧めします。これにより、分解や整備作業に十分な長さを確保できます。

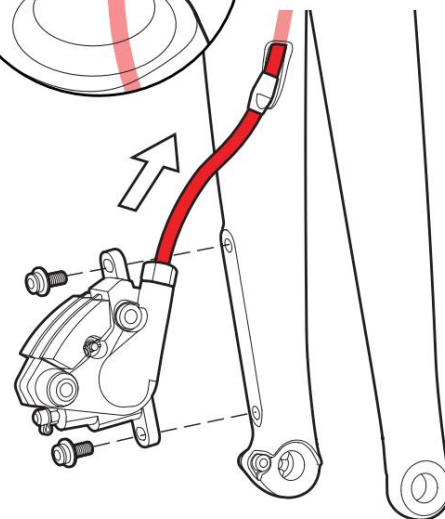
1. 顧客の適合性を測定する
2. 20~25mmのスペーサー
3. ブレーキホースを切断して取り付ける
4. 余分なスペーサーを取り外す
5. 組み立てを完了する



ディスクホースガイド (CBG-DBH)を使用して、油圧ブレーキホースをフレームとフォークに通します。メーカーの指示に従ってキャリパーを取り付け、調整します。

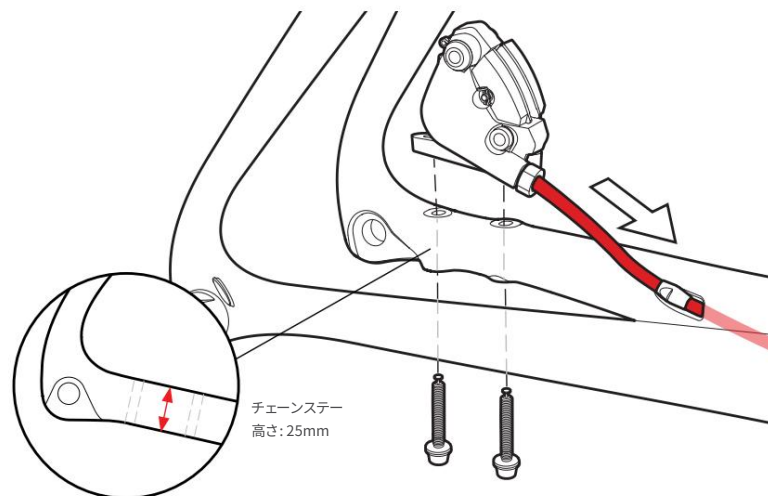
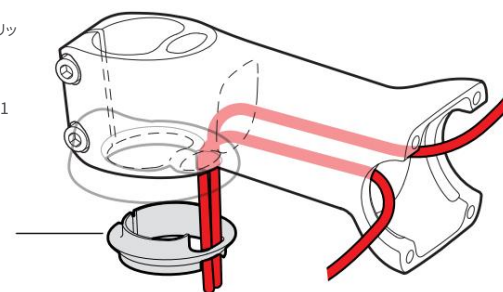


フォーステアラーのブレーキホースパススルーには、ディスクホースガイドを使用する必要はありません。



ブレーキホースをスプリットリング、ベアリングトップキャップとアウトST31幹。

スプリットリング (SR-312)

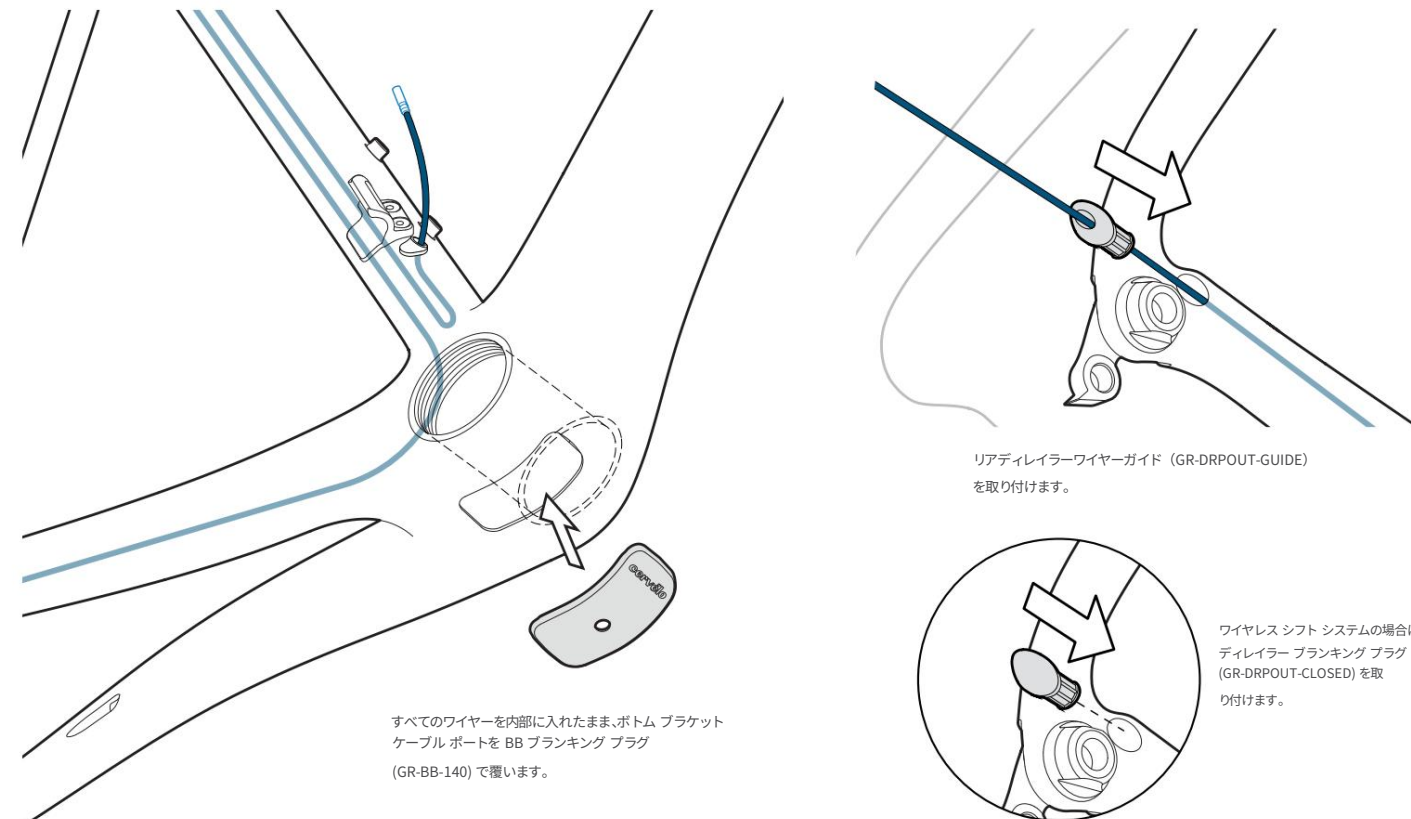
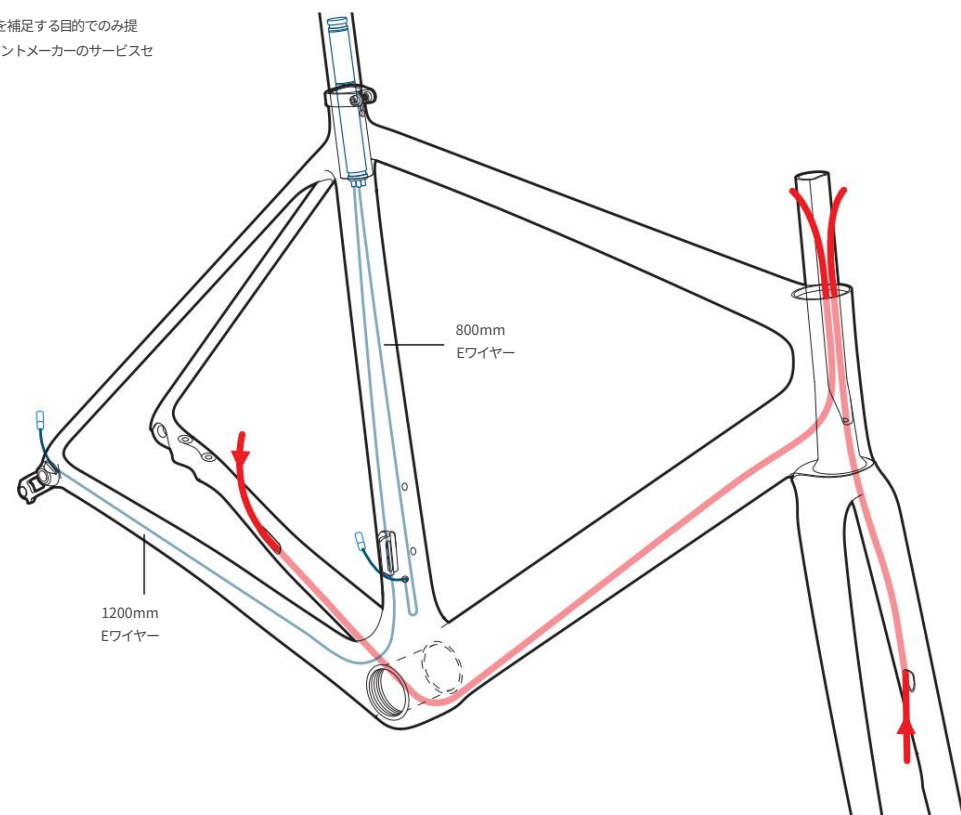


チェーンステー
高さ: 25mm

電線配線と設置

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

- ブレーキ
- Eワイヤー(SD300)

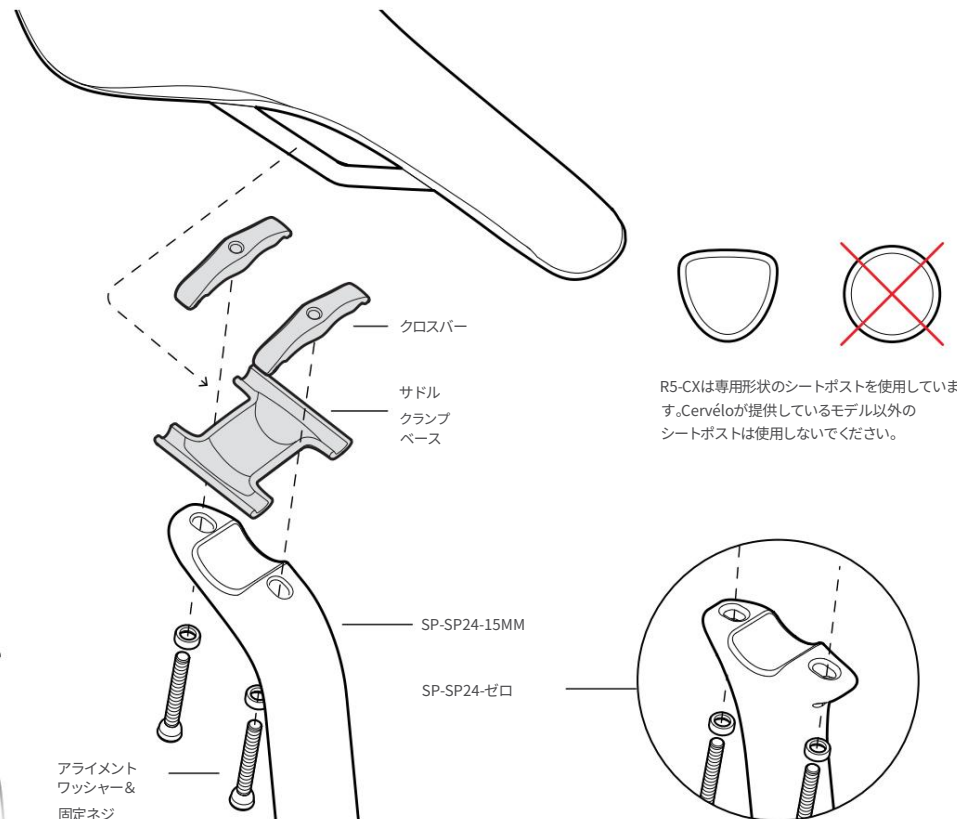
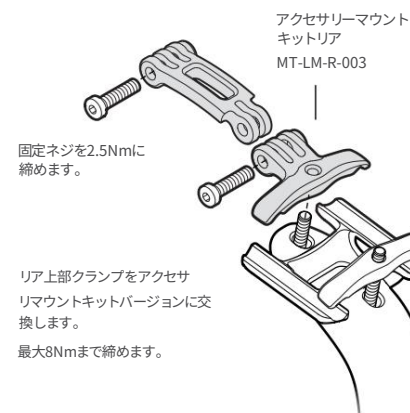


シートポストの組み立てと取り付け

1. シートポストの上面にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布し、調整スロットの周囲を覆うようにします。

2. サドルレールをクロスバーとサドルクランプベースの間に配置して、シートポストに取り付けます。

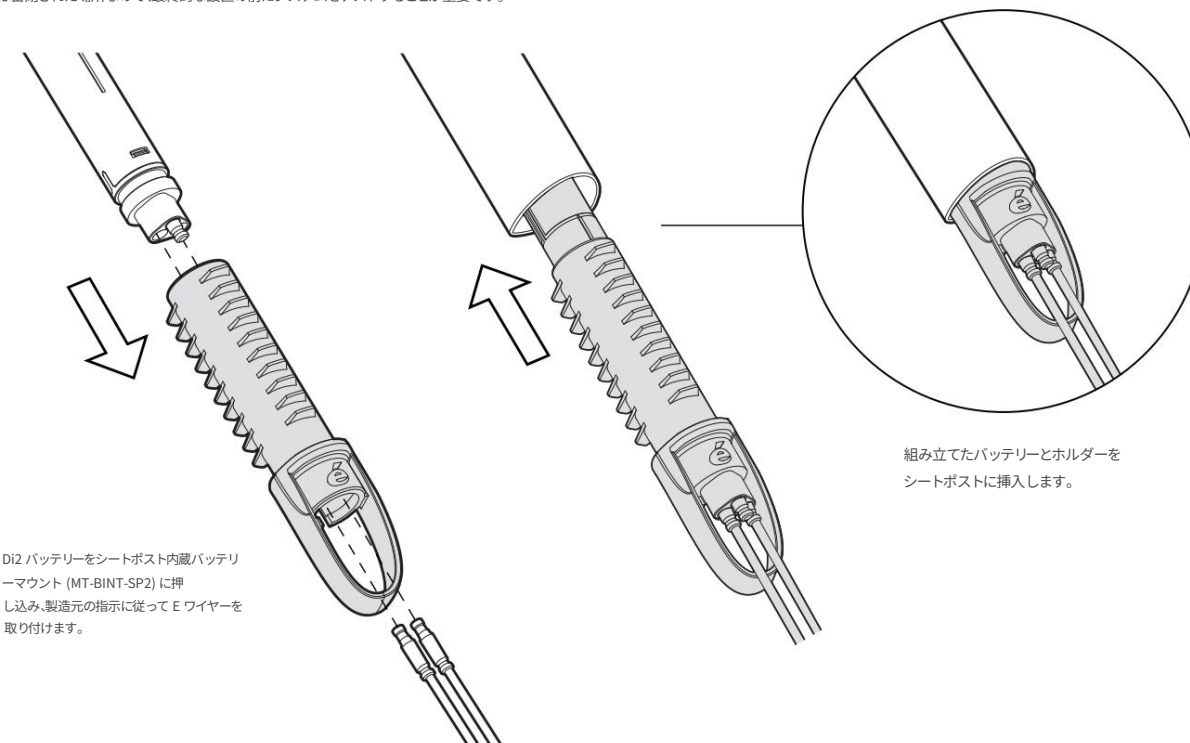
3. アライメントワッシャーを取り付けた状態で、軽くグリースを塗布した固定ネジを締め付け、シートポストにアセンブリを取り付けます。固定ネジは両側交互に1/2回転ずつ締め付けます。サドルの位置を調整したら、固定ネジを最大8Nmで締め付けます。



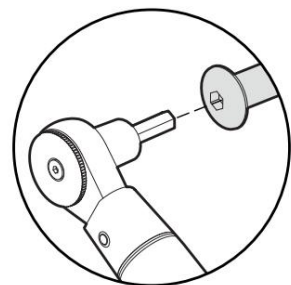
DI2バッテリーの取り付け

Shimano Di2 システム用のバッテリーは、シートポスト内蔵バッテリーマウント (MT-BINT-SP2) を使用してシートチューブ内に取り付けられます。

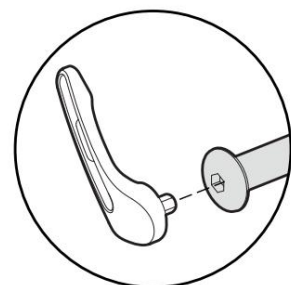
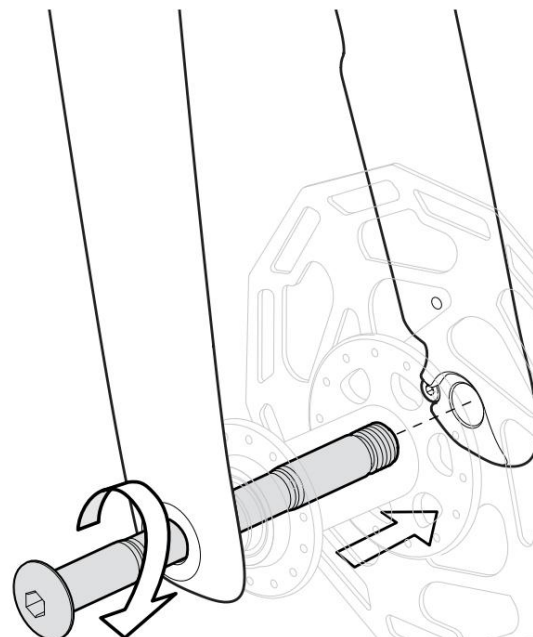
これは密閉された場所なので、最終的な設置の前にシステムをテストすることが重要です。



エアロスルーアクスルの取り付け

6mm六角レンチ/トルクレ
ンチ

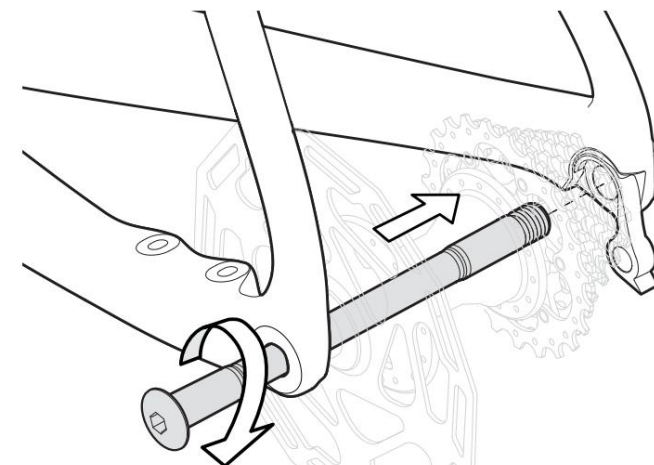
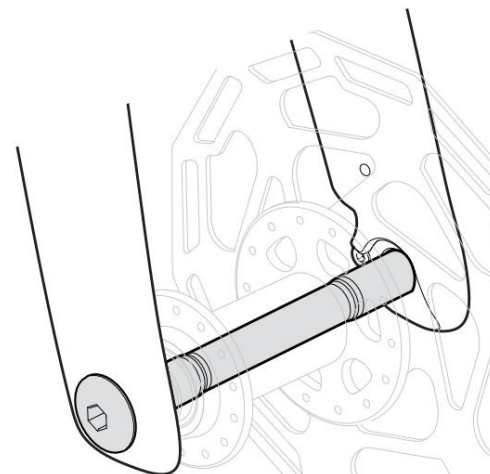
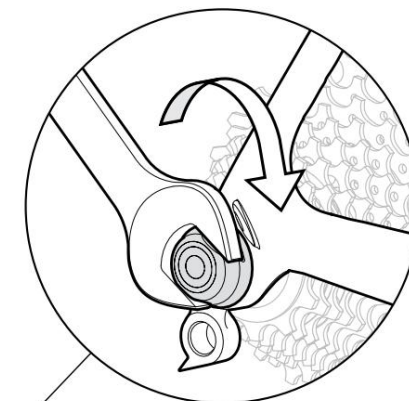
または

サーヴェロエアロ
スルーアクスル付き
取り外し可能なハンドル
(QRA-AERO2-F、
QRA-AERO2-R &
QRA-AERO2-HNDL)フロントア
クスルを12~
15Nmに締めます。

ホイールを固定するには、グリースを塗布した車軸をドロップアウトとホイールハブに通し、車軸のねじ山側をねじ込み式インサートのねじ山部分に合わせます。位置が合ったら、車軸をインサートのねじ山部分に時計回りにねじ込み、しっかりと固定します。

⚠ WARNING

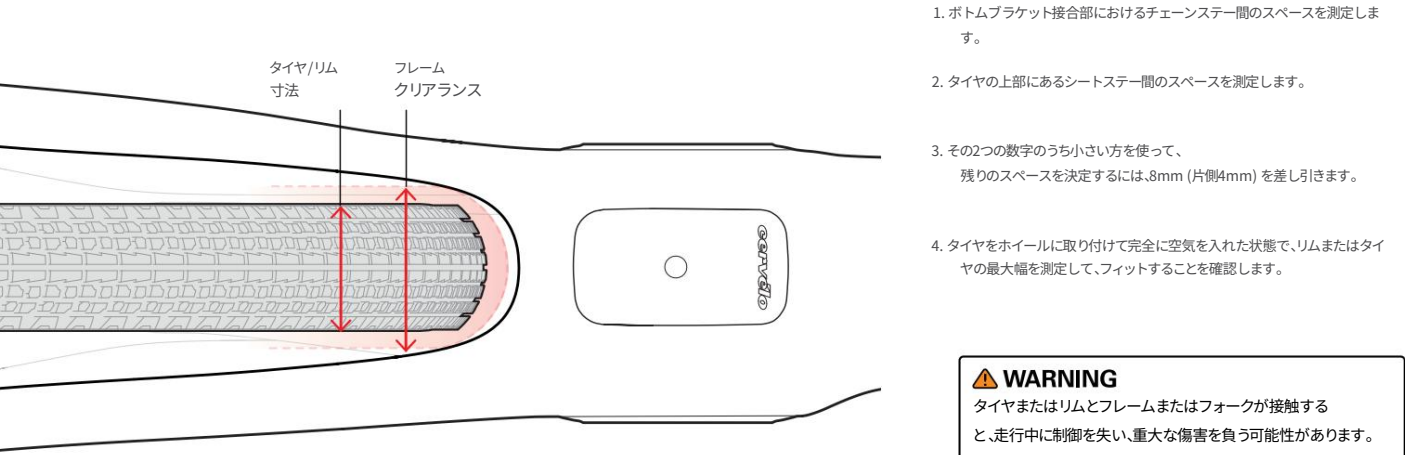
ライダーの安全を確保するためには、Cervelo Aero Thru-Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、ライダーが重傷を負う可能性のある事故につながる可能性があります。

リアアクスルを12~15Nmに
締めます。17mmレンチを使用して、リアディレイラーハ
ンガーナットを最終締め付けします。トルクは
12~15Nmです。この作業は初期組み立て時に
のみ行うため、追加の調整は必要ありません。**⚠ WARNING**


製造元の指示に従ってブレーキを調整します。

タイヤ/リムクリアランス

Cervélo バイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervélo ではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



R5-CX自転車の用途

**WARNING**
自転車とその用途を理解しましょう。目的に合わない自転車を選ぶと危険です。間違った使い方をすると危険です。

あらゆる用途に適した自転車は存在しません。販売店は、用途に合った最適な自転車を選ぶお手伝いをし、その限界を理解するお手伝いをいたします。

自転車には多くの種類があり、それぞれの種類の中にもさまざまなバリエーションがあります。マウンテンバイク、ロードバイク、レーシングバイク、ハイブリッドバイク、ツーリングバイク、シクロクロスバイク、タンデムバイクなど、様々な種類があります。また、複数の機能を組み合わせた自転車もあります。例えば、トリプルクラウンを搭載したロードバイクとレーシングバイクの融合体です。これらの自転車は、ツーリングバイクのようなローギア比とレーシングバイクのようなクイックなハンドリングを備えています。ツアー中に重い荷物を運ぶのには適していません。そのため、ツーリングバイクを選ぶのがおすすめです。

それぞれの自転車の種類には、特定の目的に合わせて最適化できるものがあります。自転車店を訪れて、興味のある分野の専門家を見つけてください。自分で調べてみましょう。タイヤの選択など、一見小さな変更でも、特定の目的において自転車の性能を向上させたり低下させたりすることがあります。

注:使用条件は一般化されており、変化しています。
自転車の使用方法について、販売店または Cervélo カスタマー サービスにご相談ください。

注意: Cervéloの自転車は、自転車、ライダー、荷物の合計重量が100kgまでとなるようテストされています。コンポーネントにはそれぞれ異なる重量制限があり、交換すると自転車の安全最大重量が変わる場合があります。お客様の自転車に適したコンポーネントについては、販売店またはCervéloカスタマーサービスにお問い合わせください。

最大重量制限 - Cervélo R5-CX

ライダー	194ポンド	88キロ
ギア*	11ポンド	5キロ
合計	220.5ポンド	100キロ

※シートバッグ/ウォーターボトル/弁当バッグ/ハンドルバーボトル/収納マウントのみ

シクロクロスライディング - コンディション2

コンディション1に加え、未舗装路、砂利道、中程度の勾配のトレイルでの走行を想定して設計された自転車です。不整地への接触やタイヤの接地性の低下が発生する可能性があります。ドロップは6インチ (15cm)以下に抑えてください。

シクロクロスのライディング、トレーニング、レースに適しています。シクロクロスは、ダートや泥道を含む様々な地形や路面を走る競技です。
シクロクロスバイクは、あらゆる天候での荒れた道路での走行や通勤にも適しています。

オフロードやマウンテンバイク、またはジャンプ走行には適していません。シクロクロスのライダーやレーサーは、障害物に差し掛かる前にバイクから降り、障害物乗り越えてから再びバイクに乗ります。シクロクロスバイクはマウンテンバイクでの使用を想定していません。ロードバイクの比較的大きなホイールは、マウンテンバイクの小さなホイールよりもスピードは出ますが、強度は劣ります。

R5-CX トルク仕様

ねじ留め具の正しい締め付けトルクは、安全のために非常に重要です。常に正しいトルクで締め付けてください。このマニュアルの指示とコンポーネントメーカーの指示に矛盾がある場合は、販売店またはCervéloカスタマーサービスにご相談ください。締め付けがきつすぎる

と、ねじが伸びて変形する可能性があります。締め付けが緩すぎると、ねじが動いて疲労する可能性があります。どちらの場合も、ねじの突然の破損につながる可能性があります。

自転車の重要なファスナーを締め付ける際は、正しく調整されたトルクレンチのみを使用してください。正確な締め付け結果を得るには、トルクレンチメーカーの取扱説明書に従って設定と使用方法をよく読んでください。ご自身で調整を行う前に、必ずすべての関連資料を読み、適切な工具を揃えてください。

成分	トルク(Nm) 注記	
フレーム		
ボトムブラケット - ネジ付き - T47	50 Nm	フレーム内側のBBシェルのネジ山を清掃し、グリースを塗布します。BBカップの外側のネジ山にもグリースを塗布します。BBカップの両側をフレームにねじ込みます。右側のカップは逆ネジになっていることに注意してください。トルクレンチと適切なアダプターを使用して、両側がフレームと面一になるまで指定トルクで締め付けます。
リアディレイラー固定ナット（ディスクブレーキ）	12 ～ 15 Nm	後輪を取り付ける前に手で締め、最終トルクはオープンエンドレンチを使用しておおよそのトルクにします。
取り外し可能なFDM / FDMブランピングプレート	3 Nm	固定ネジに軽くグリースを塗ります。
ウォーターボトルケージ固定ネジ	2～3Nm	固定ネジに軽くグリースを塗ります。

小売業者は適切なツールと経験を備えており、調整が確実に正しく行われるようにするため、以下の調整は小売業者に実行させることをお勧めします。

ボルトを組み立てて締め付ける前に、すべてのねじ山に高品質の非リチウム系グリースをたっぷり塗布してください。ただし、ボルトにLoctite®ねじロック剤が塗布されている場合は除きます。すべてのボルトにはグリースかLoctiteのいずれかを塗布してください。両方を同時に塗布することは避けてください。すべてのねじ山付きファスナーの締め付けには、特定のトルク設定に適した目盛りのトルクレンチの使用を強くお勧めします。

サーヴェロは、シートポストなど、カーボンファイバーをクランプするすべての領域にカーボンアセンブリコンパウンド/摩擦ペーストを使用することを強く推奨しています。

フレームとステム、ステムとフォーク、ハンドルバーとステムの接合部に塗布します。このペーストを使用する利点としては、腐食の可能性を低減し、所定の荷重を支えるために必要な締め付け力を低減できることなどが挙げられます。ペーストを締め付け部下のカーボン表面に均一に塗布し、以下の推奨事項に従って該当するボルトを締め付けてください。

警告:以下のリストと、元の装備コンポーネントの推奨トルク値に関するサプライヤーの資料との間に不一致または矛盾がある場合は、取り付け前に Cervélo カスタマー サポートに連絡して、必要なトルクの確認と説明を受けてください。

R5-CX トルク仕様

成分	トルク(Nm) 注記	
フォーク		
フォークステアラー圧縮プラグ	8 Nm	固定ネジに軽くグリースを塗り、推奨トルクで締めます。
フォークドロップアウトインサート	3 Nm	ネジに軽くグリースを塗り、NDSフォークのドロップアウトに指で締め付けます。アクスル（ホイールなし）を取り付け、アクスルフランジがフォークのドロップアウトに接触するまで締め付けます。その後、固定ネジを推奨トルクで締め付けます。アクスルを取り外し、アクスルとホイールを推奨トルクで取り付け、取り外します。固定ネジを推奨トルクで締め直します。
幹		
ステムからフォークまでのステアラーチューブ	5 Nm	フォークステアラーのステムクランプ接合部にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布します。トルクレンチを使用して、ステム固定ネジを均等にかつ交互に推奨トルクで締め付けます。
ステムからカーボンハンドルバーへ	6 Nm	ステム／ハンドルバーのクランプ面にカーボンアセンブリコンパウンドを塗布します。トルクレンチを使用して、フェイスプレート固定ネジを推奨最大トルクまで、スタートバターンに従って締め付けます。
ハンドルバー		
ブレーキ/シフトレバー（ハンドルバーへ）	6～8 Nm	ブレーキ/シフトレバーの取り付けについては、製造元の指示を参照してください。
アクセサリーマウント - フロント	2 Nm	固定ネジに軽くグリースを塗ります。
シートポストクランプ（フレームからシートポストへ）		
D字型の標	6 Nm	シートポストとフレームの間にカーボンアセンブリコンパウンドを使用します。
セカンダリDシェイプカラー	3 Nm	
サドル（シートポストヘッドボルト） - SP24 Dシェイプカーボン		
2ボルトヘッド	8～9Nm	両方のボルトに Loctite 242 が使用されていることを確認します（1 つは事前に塗布されています）。
ホイール		
サーヴェロ エアロ スルーアクスル / サーヴェロ エアロ スルー取り外し可能なハンドル付き車軸	12 ～ 15 Nm 6mm 六角レンチ型レンチまたは取り外し可能なハンドルを使用する必要があります。	
他の		
ペダル	30 ～ 35 Nm	製造元の指示を参照してください。

R5-CX フレーム詳細

R5-CX (FM153)	
バイク名	R5-CX
モデル年	2023
シリアル番号コード	SN153
フレームコード	FM153
フォークコード	FK153
ブレーキマウントタイプ	フラットマウントディスク
チェーンステーの高さ (フラットマウント)	25.8リメートル
フレームサイズ	51/54/56/58
ホイールサイズ	700セント
BBタイプ	T47 BBRright (T47A) ねじ込み
ヘッドセットの種類	一体型1-1/4インチ x 1-1/2インチ

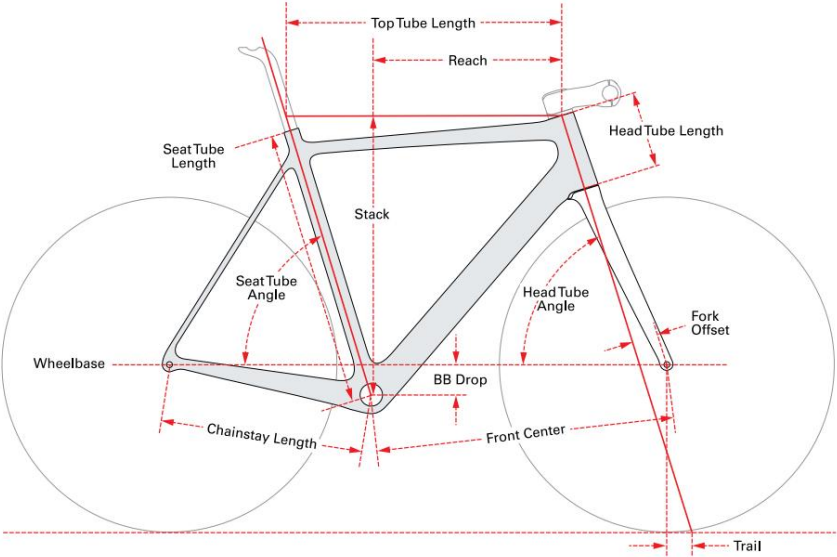
* タイヤの測定は、タイヤがリムに取り付けられて空気が入った状態で、タイヤの最も広い部分で行います。タイヤとフレームまたはフォーク要素の間には 4 mm の距離が必要です。

注意: UCI 公認シクロクロス レースの場合、タイヤの最大幅は 33 mm です。

R5-CX (FM153)	
上部ヘッドセットベアリング寸法	1-1/4インチ、34 x 46.8 x 7.45° x 45°
下部ヘッドセットベアリング寸法	1-1/2インチ、40 x 51.8 x 7.5.36° x 45°
シートポスト	SP-SP24-ZERO,SP-SP24-15MM
シートポストクランプ	SPC-256
リアディレイラーハンガー	DRH-WMN112
リアディレイラーハンガー (シマノDM)	DRH-HR
フロントディレイラーハンガー	FDM-590
フロントスルーアクスル寸法	12 x 100 mm
リアスルーアクスル寸法	12 x 142 mm
フォークドロップアウトインサート	QRI-THD
最大タイヤ幅 (実寸)	43 mm (5 mmのクリアランスあり)*

R5-CX フレームジオメトリ

R5-CX (FM153)	51cm	54cm	56cm	58cm	
リーチ mm	371	380	389	398	
スタック mm	520	540	560	580	
ボトムブラケットドロップ mm	63	63	63	63	
チェーンステー長さ mm	425	425	425	425	
シートチューブ角度	74.5度	74度	73.5度	73度	
ヘッドチューブ角度	71.5度	71.5度	71.5度	72度	
フォークの長さ (車軸からクラウンまで) mm	401	401	401	401	
フォークオフセット mm	51	51	51	48	
フロントセンター mm	581	597	612	620	
ヘッドチューブ長 mm	97	118	139	157	
ホイールベース mm	998	1014	1029	1037	
スタンドオーバーハイト mm	775	789	803	820	
シートチューブ長 mm	537	550	560	575	
トップチューブ長 mm	517	536	556	574	



サーヴェロ カスタマーサポート

カスタマーサポートへのお問い合わせ

Cervélo への質問を送信するには、www.cervelo.com/contact-us にアクセスしてください。

製品登録

www.cervelo.com/support にアクセスし、MyCervélo アカウントを通じて Cervélo 自転車を登録してください。

マニュアル

Cervélo 製品の詳細については、www.cervelo.com/product-manuals をご覧ください。

保証

Cervélo の保証ポリシーの詳細については、www.cervelo.com/warranty をご覧ください。

注記

R5-CX リテーラー組み立てマニュアル

www.cervelo.com

CER-CXA-V1 2022-05-25

cervelo